



かけはし

Vol.134

2022年度

No.1

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



MRIの横

◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

*新年度を迎えて……………1	*外来診察表……………6
*MRIの増設について……………2	*4、5月の出水郡医師会 日曜祭日当番医……………7
*患者さんの権利と責務……………2	*新人紹介……………7
*外来満足度調査結果……………3～4	*編集後記……………7
*リハビリの窓……………5	

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。



新年度を迎えて

院長 今村 博

いよいよ令和4年度が始まります。昨年度までは新型コロナ感染症に翻弄される日々が続きました。しかし今年度は、おそらく収束に向かうでしょう。これからは生活習慣病やがんなどに留意すべく、自らの健康をしっかりと振りかえる医療を取り戻さなければなりません。

令和4年度、当院は大きく医療の充実を図ります。まず医師が3名増員となります。これで常勤医師が25名となり、これまでの病院の歴史で最も多くなります。内訳は、まず眼科の先生が常勤医師として赴任します。これにより高齢化で増加傾向にある白内障の患者さんも、当院で手術まで受けられるようになります。次に循環器内科の先生が増員となり、4名体制から5名体制へととなります。これにより、これまで以上に幅広く循環器疾患に対応することが可能となり、心筋梗塞や狭心症など救急への対応も充実されます。最後に脳神経外科の先生も2名体制から3名体制へ増員となります。これにより出水郡における脳血管疾患の中核病院として、体制がさらに整います。

機器の面でもさらなる充実がなされます。4月からは最新型の

MRIを新たに一機導入し、MRIは2台体制となります。これは磁場強度が3.0テスラで現在臨床使用されているものでは最もレベルが高く、北薩地域では当院のみの導入となります。これにより短い検査時間で質の高い画像を得ることができるようになります。乳がん検査のマンモグラフィも最新型に更新し、さらに精密な検査に臨みます。すでにCTは3台体制、血管造影装置は2台体制であり、器械も非常に充実した中で医療を行っています。

当院は高齢化や核家族化が進む中、出水・阿久根・長島の住民に都市部と変わらない質の高い救急医療と高度医療を提供すべく、これからも尽力して参ります。本年度も、出水郡医師会広域医療センターをよろしくお願いいたします。



MRIの増設について

2022年4月中旬より、GE Healthcare社製 3.0テスラMRI装置「SIGNA™ Pioneer AIR™ Edition」が運用開始となります。



鹿児島県内でも3.0テスラMRI装置の導入実績は少なく、ここ北薩地域では初の導入となります。

当院では、既存の1.5テスラMRI装置と2台体制での運用となります。

3.0テスラMRI装置の特徴といたしまして、一般的なMRI装置は60cm程度の開口ですが、今回のMRIは、70cmの広いボア径設計で、より広いスペースを確保して不安感を軽減します。ボアだけではなく、テーブルも広がっています。さらに、クレードル幅の広い患者テーブルはより楽な体勢での検査を可能とし、また床まで下げることができ、乗り降りが簡単になります。

様々な高速撮像技術に対応し、検査時間を短縮することができます。動き補正やアーチファクト抑制などと組み合わせた高速撮像や圧縮センシング技術を用いた高速撮像、さらには局所撮像技術を応用した高速撮像は様々な部位での撮像時間の短縮が可能となり、これまでよりも短い時間での検査を実現します。検査時間は撮影部位によって異なりますが、15分～30分程の検査時間となります。

静磁場強度が3.0テスラに上昇すると、信号とノイズの比であるS/N比は1.5テスラの約2倍になり結果として、細かいところがよく見えるようになります。S/N比が大きくなるほど高画質になるので、従来あまりよく見えなかった細かいところや、手、足もきれいな画像が得られるようになります。さらなる高分解能画像や高速画像の撮像が可能となっています。

3.0テスラMRI導入と同時期に、GE Healthcare社製 乳房用X線診断装置「Senographe Pristina™」に新規入替となり、こちらは3月中旬より運用しております。

以前は、アナログ装置+CRによる運用でしたが、今回よりフラットパネル装置での運用となり、ワークフローが格段に向上しました。優れた操作性で質の高い検査を実現するために、マンモグラフィで最も重要なポジショニングをサポートする機能を搭載しており、検査精度の向上を目指します。X線管球は、GE特許のモリブデン(Mo)/ロジウム(Rh)の二重陽極を採用し、特性X線を最大限に活用し、銀(Ag)フィルタを用いることにより、従来のロジウムフィルタと比較してCNRの向上と撮影時間の短縮が可能となり、従来よりも高い画質を実現しました。

今回、3.0テスラMRI装置、乳房用X線診断装置ともに最新鋭の装置が導入されました。

検査に関して、ご不明な点がございましたら、お気軽にお声掛けください。

(文責：吉村)

患者さんの権利と責務

～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

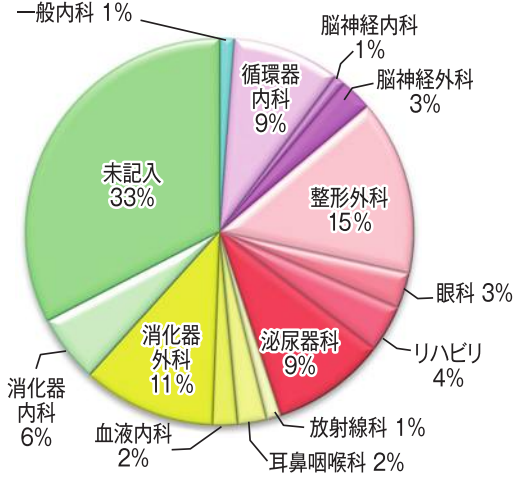
- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
- 3.医療上の全ての個人情報保護されます。
- 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
- 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

外来満足度調査

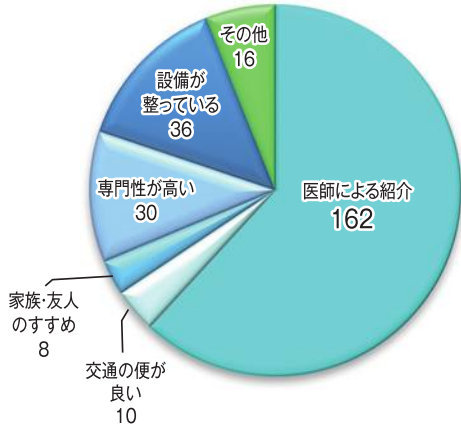
当院では、皆様からの率直なご意見を頂き、患者さんにとってよりよい病院になるために毎年「満足度調査」を実施し、サービス改善に取り組んでおります。2021年度の調査結果を下記にまとめましたのでご報告します。

実施期間:2021年11月15日(月)～11月24日(水) 回答数:319枚

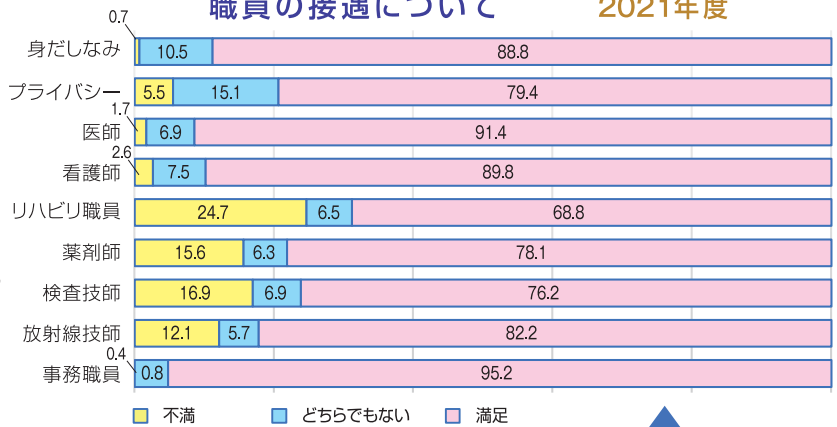
各診療科別回収状況



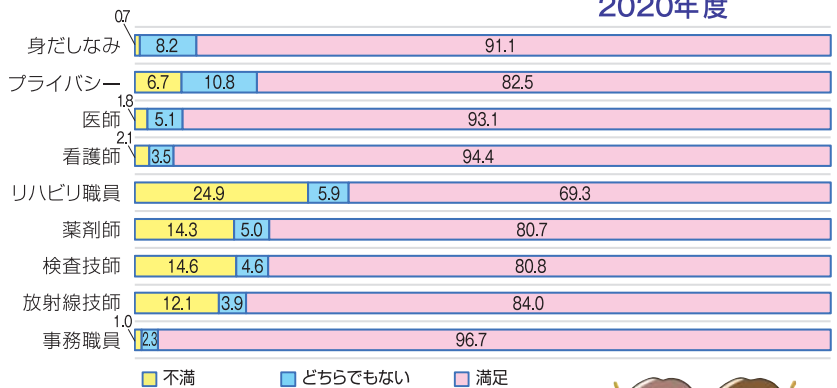
当院を選んだ理由



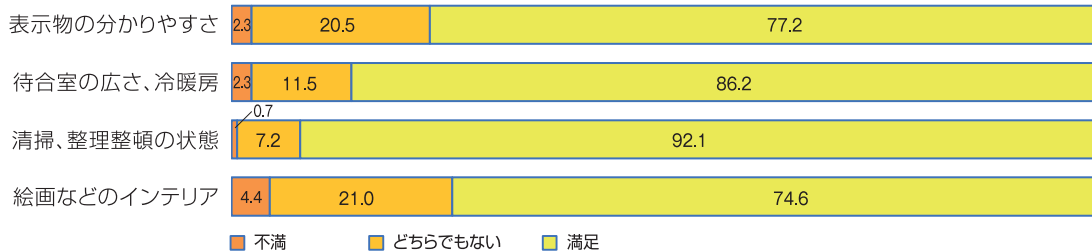
職員の接遇について 2021年度



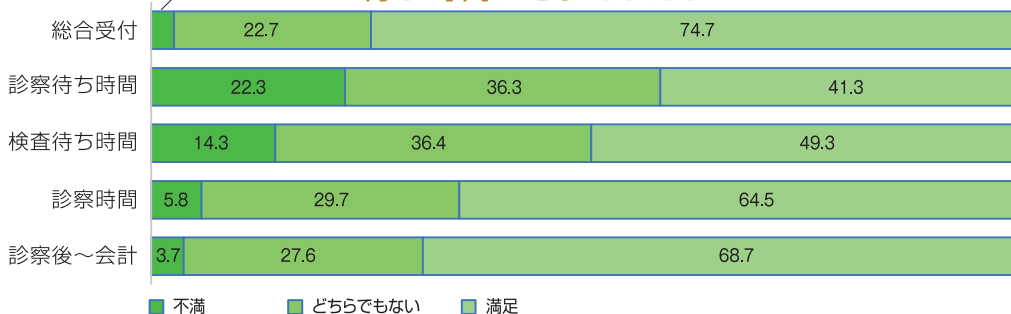
2020年度



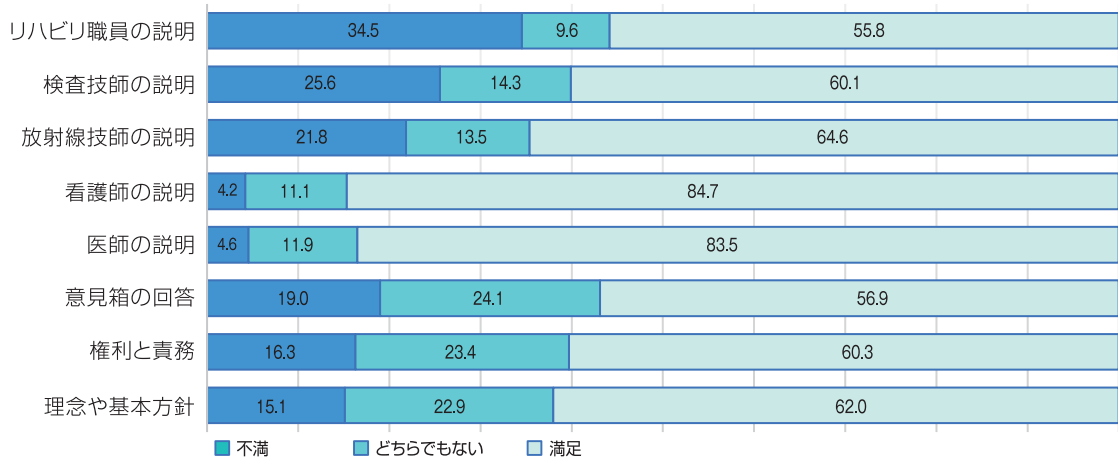
院内の環境はどうでしたか



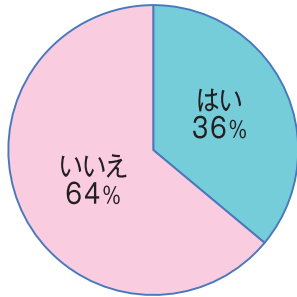
待ち時間はどうでしたか



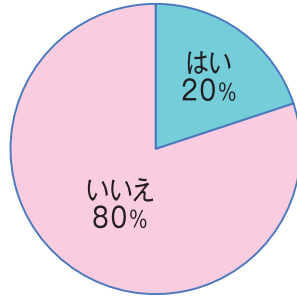
情報提供や職員の説明はどうでしたか



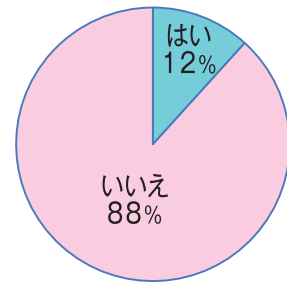
かけはしを知っていますか



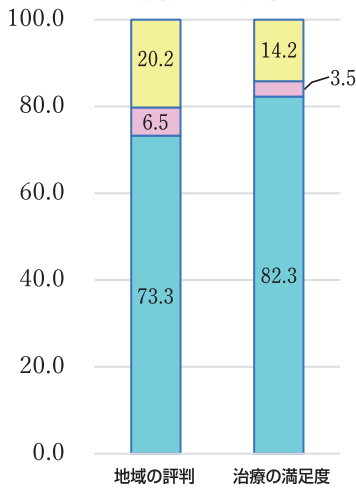
ホームページを見たことがありますか



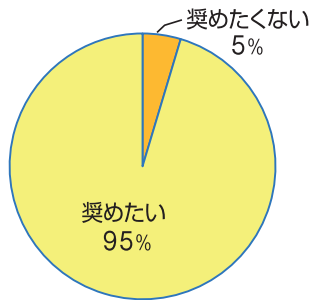
医療情報センターを利用したことがありますか



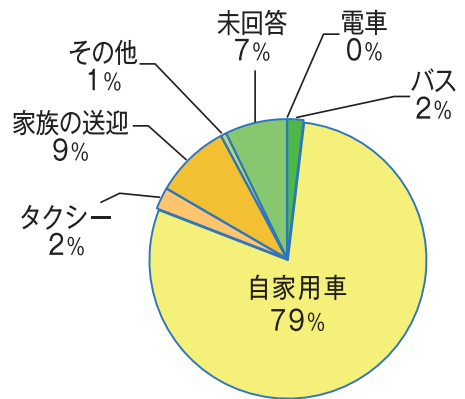
病院の印象



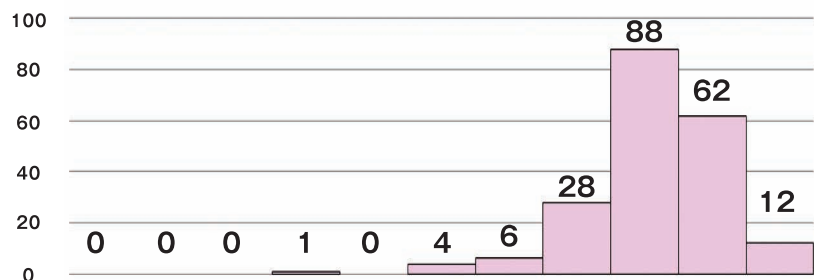
当院を知人などに奨めたいですか



来院の交通手段



外来満足度評価における当院の総合評価



全体的に満足度が低下した項目も多く、各部署での改善が望めます。今後も更なる努力をし、よりよい病院を目指します。



リハビリの窓 「緩和ケア」のご紹介

●はじめに
皆さんは緩和ケアと聞いてどのよう
なことを思い浮かべますか？「治
療が出来ずに亡くなる前に行くこと
ろ」などと思いきわくかべる方も多
いと思います。私自身も緩和ケア病
棟の方と関わるまではそのように思
っていません。今回は「緩和ケア」を
テーマに簡単なご紹介をさせて頂き
たいと思います。

●緩和ケアの定義

日本緩和医療学会「WHO(世界
保健機関)による緩和ケアの定義
(2002)」

緩和ケアとは、生命を脅かす病に
関連する問題に直面している患者と
その家族のQOL(生活の質)を、
痛みやその他の身体的・心理社会的
・スピリチュアルな問題を早期に
見出し的確に評価を行い対応するこ
とで、苦痛を予防し和らげることが
通して向上させるアプローチであ
る。



●緩和ケアはいつから始まるの？

緩和ケアは、がんと診断されたと
きから始まります。がんと診断され

ると落ち込むこともあります。ま
た、診断を受けたときには、すでに
痛みや息苦しさなどの症状がある場
合もあります。緩和ケアは、そのよ
うな落ち込みや症状に対して、がん
の治療とともに、つらさを感じると
きにはいつでも受けることができま
す。

●緩和ケアの考え方(図1)

従来では、がんの治療による効果
が望めなくなった患者が、がん治療
から緩和ケアに移行すると考えられ
ておりました。

しかし、現在では、緩和ケアは診
断時から治療と並行して行われるべ
きものとされ、がんのすべての過程
に関わるものとなっています。診断
時から痛みなどの症状がある場合に
は鎮痛薬などの処方がある場合に
告知による気持ちの落ち込みには心
理的な支援がなされます。治療中
は、抗がん薬や放射線治療の副作用
の予防などが必要となります。

従来の時期と比べて、現在のがん
と診断された方も医学の進歩によ
り、長期の生存が可能になりました。
しかし、痛みをはじめとしたか
らだの症状や気持ちのつらさなど
を抱えていては充実した毎日を送るこ
とができませんので、緩和ケアを併
用することにより、よりその人らし
い毎日を過ごすことが大事だと思わ
れます。

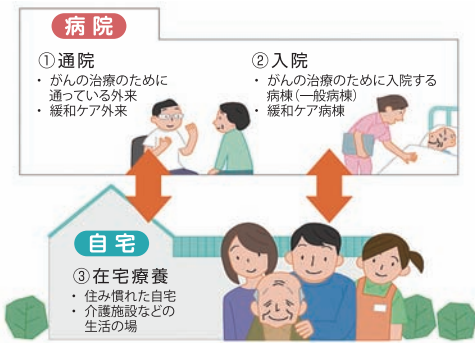
現在も緩和ケアという否定的な
イメージを持つ患者・家族や医療者

が多く、緩和ケアの専門家の診察を
受けるのは末期になってからと誤解
している方が多いのが現状です。

図1: WHO(世界保健機関)の
緩和ケアの考え方



●緩和ケアを受けることが出来る場所
緩和ケアは在宅、外来、一般・専
門病棟(緩和ケア病棟)で受けるこ
とが出来ます。



●緩和ケア病棟でのリハビリ

緩和ケア病棟では、本人・家族の
希望を聴取し、医師・看護師・公認
心理師などと情報共有を図りなが
らリハビリを実施しています。

リハビリの内容としては、移動や
日常生活動作が楽に行えるような方
法の提案、痛みを軽減するためのマ
ッサージ、病棟内散歩などの気分転
換、本人、家族にとつて大切な作業
活動の提供、安心して食事が摂取出
来るように食事の形態の調整、口腔
内を清潔にするための口腔ケアなど
を行っています。

実施する際に心掛けていること
は、本人・家族の気持ちに寄り添
い、質の高い生活を送れるようにす
ることです。

●終わりに

今回のリハビリの窓を通して
①緩和ケアを受けるのは末期になっ
てからではなく、がんと診断され
たときから始まり、様々な場所で
受けることが出来ること

②身体症状や気持ちのつらさなど
を抱えていると充実した毎日を送
ることが出来ない為、緩和ケアを
併用することにより、よりその人
らしい毎日を過ごすことが大事で
ある。

以上2つのことをご理解頂ければ幸
い입니다。
最後までご覧頂きありがとうございました。

(文責: 立切)

外来診察表

令和4年4月1日 現在

診療科目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
循環器内科	午前	内匠 拓朗 東 祐大 桑原 紳太郎	東 祐大 末永 智大	有村 俊博 末永 智大	検査日	内匠 拓朗 有村 俊博 立石 繁宜	予約検査	
	大石 充 (鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授) 第3水曜日診察 <small>※都合により第4水曜日になる月もあります。</small>							
(一般内科)	午前	(内匠・東)		(有村・末永)		(内匠・有村)		
心臓血管外科	午前		【第2】(熊本中央病院・心臓血管外科医)					
呼吸器外科	午前午後	上田 和弘 (鹿児島大学呼吸器外科准教授) 第2・4木曜日 要予約/要紹介						
脳神経内科	午前	児玉 大介 (鹿児島大学)						
血液内科	午前午後				島 晃大 (鹿児島大学)			
眼 科	午前	松下 裕亮	松下 裕亮	松下 裕亮	松下 裕亮			
	午後	手術日	松下 裕亮	手術日	松下 裕亮			
脳神経外科	午前	手術日	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳	検査日	予約検査	
	午後	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳			
整形外科	午前	山下 芳隆 堀之内 駿	手術日	堀之内 駿 脇丸 祐 藤善 大成	手術日	山下 芳隆 脇丸 祐 前迫 真吾 <small>(鹿児島大学整形外科 隔週)</small>	予約検査	
		谷口 昇 (鹿児島大学整形外科教授) 第4火曜日 要予約/要紹介						
泌尿器科	午前	鶴田 雅史 岡村 俊介	手術日	鶴田 雅史 岡村 俊介	鶴田 雅史	鶴田 雅史 岡村 俊介	予約検査	
放射線科	午前	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信		堀之内 信		
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)	午前午後		鹿児島大学・耳鼻咽喉科医			鹿児島大学・耳鼻咽喉科医		
消化器病センター	消化器内科	午前	灰床 裕介		上野 雄一 灰床 裕介	上野 雄一	予約検査	
	消化器外科 (外科)	午前	手術日	今村 博 田辺 元	手術日	今村 博 瀬戸山 徹郎 黒島 直樹 手術日		
	化学療法外来	午前	(今村 博)	瀬戸山 徹郎	(今村 博)	吉井 貴子	黒島 直樹	
	緩和ケア外来	午後				消化器外科医 (15:00~17:00)		
	セカンドオピニオン外来	午後		今村/瀬戸山 (16:00~16:30)				
	胃カメラ	午前	上野 雄一	上野/灰床	熊本大学・消化器内科医	上野/灰床	灰床 裕介	予約検査 <small>(熊本大学・消化器内科医)</small>
	大腸カメラ	午後	上野 雄一	上野/灰床	熊本大学・消化器内科医	上野/灰床	灰床 裕介	
肝臓内科	午後	馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科) 第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30) 要予約/要紹介						
乳腺外来	午前午後	新田 吉陽 (鹿児島大学/乳腺外科) 第1木曜日診察(受付 9:00~16:00) 要予約/要紹介						

※各診療科・担当医の診察日を確認の上、「地域医療連携室」を通して御紹介下さい。(要予約・要紹介)

※ただし急患はこの限りではありません。

※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。

※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応。

4、5月の 出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



月日	出水市	阿久根市	長島町
4月29日(金)	三慶医院 TEL 63-2333 平田整形外科クリニック TEL 62-8801	植村整形外科 TEL 72-1041	平尾診療所 TEL 88-2595
5月 1日(日)	野田診療所 TEL 84-2023 おかだクリニック TEL 63-7011	有村産婦人科内科 TEL 73-4180	鷹巣診療所 TEL 86-0054
3日(火)	よう皮ふ科医院 TEL 63-1112 二宮医院 TEL 62-0167	内山病院 TEL 73-1551	平尾診療所 TEL 88-2595
4日(水)	友愛クリニック TEL 64-2101 東医院 TEL 67-1861	鶴見医院 TEL 73-0553	鷹巣診療所 TEL 86-0054
5日(木)	つかさとクリニック TEL 67-5560 吉田耳鼻咽喉科医院 TEL 62-0170	しみずこども医院 TEL 68-0633	長島クリニック TEL 88-6405
8日(日)	せき耳鼻咽喉科クリニック TEL 64-1187 みらいクリニック TEL 79-3775	いまむらクリニック TEL 73-1700	鷹巣診療所 TEL 86-0054
15日(日)	林泌尿器科クリニック TEL 64-8800 さくら通りクリニック TEL 62-2311	門松医院 TEL 64-6100	平尾診療所 TEL 88-2595
22日(日)	わかすぎ皮膚科クリニック TEL 64-1313 荘記念病院 TEL 82-3113	山田クリニック TEL 72-0420	鷹巣診療所 TEL 86-0054
29日(日)	整形外科ばくちクリニック TEL 64-8260 しもそのクリニック TEL 63-8300	北国医院 TEL 72-0016	長島クリニック TEL 88-6405

新人紹介

循環器内科医師

鹿児島県出身

たくみ たくろう
内匠 拓朗

約2年ぶりに勤務させていただくことになりましたので、
よろしくお願い致します。

循環器内科医師

鹿児島県出身

くわはら しんたろう
桑原 紳太郎

4月より赴任しました。まだまだ勉強の日々ですが、出水地域の
医療に貢献できるように精一杯頑張りますので宜しくお願いいた
します。

泌尿器科医師

鹿児島県出身

つるだ まさふみ
鶴田 雅史

10年振りに阿久根に戻って参りました。少しでも地域に貢献出
来る様、精進したいと存じます。よろしくお願い致します。

泌尿器科医師

鹿児島県出身

おかむら しゅんすけ
岡村 俊介

4年ぶりに阿久根に戻ってきました。
よろしくお願い致します。

消化器外科医師

鹿児島県出身

くろしま なおき
黒島 直樹

卒後14年目になります。30代の多くを、阿久根の北にある長崎県
島原市の病院で、地域医療に携わってきました。昨年、故郷の鹿児
島に帰ってきて、これからは鹿児島の患者さんのために尽くしてい
きたいと思っております。よろしくお願い致します。

脳神経外科医師

鹿児島県出身

まつだ だいき
松田 大樹

地域に貢献できるようがんばります。よろしくお願い致します。

整形外科医師

鹿児島県出身

ふじよし たいせい
藤善 大成

整形外科の藤善大成と申します。2年程前に同じく兄が当病院にて
勤務歴があり、この名前に見覚えがある方も多いかと存じます。慣
れない点、至らぬ点等有りましたら、御指導、御鞭撻の程を賜りたく
存じます。何卒宜しくお願いします。

眼科医師

鹿児島県出身

まつした ゆうすけ
松下 裕亮

眼科医師として当地域の医療に努めさせて頂きたく存じます。
よろしくお願い致します。

編集後記

今年度「かけはし」の第1号をお読みいただきありがとうございます。今年度より常勤Drが3名増え、当院の歴史上最大数の25名になったことや北薩地域初の3.0テスラMRIを導入したことなど今年度は、変化のスタートになりました。こういった当院についての情報を発信していきますので、今年度も「かけはし」を宜しくお願い申し上げます。

(尻無濱)